

議会による第5次総合計画主要施策評価

去る10月4日開催の「第5次福島町総合計画後期実施計画策定調査特別委員会」に提出された前期計画期間内の進捗状況等資料に基づく「第5次福島町総合計画主要施策評価」について、議会としての評価を示し、次回特別委員会で審議する「第5次福島町総合計画後期実施計画」等の論点を深めようとするものです。

全議員が1事業ずつ評価した結果・評価方法は次のとおりです。

◎議会の主要施策評価結果概要

1. 総務教育常任委員会の内容（R元.10.28開催）

評価は17件のまちづくり項目で、165件の施策がありました。町の進捗状況は、「実施済み：◎」9件、「実施中：○」131件、「今後の実施予定：△」23件、「事業中止：×」2件となっています。

議会の評価結果は17件のまちづくり項目ごとに行い、すべて「概ね評価できる：○」となりました。

2. 経済福祉常任委員会の内容（R元.10.29開催）

評価は20件のまちづくり項目で、214件の施策がありました。町の進捗状況は、「実施済み：◎」17件、「実施中：○」163件、「今後の実施予定：△」33件、「事業中止：×」1件となっています。

議会の評価結果は20件のまちづくり項目ごとに行い、「概ね評価できる：○」17件、「やや不足している：△」3件となりました。

【町の評価表】

① 評価の分類

- ◎＝「実施済み」
- ＝「実施中」
- △＝「今後の実施予定」
- ▼＝「実施困難」
- ×＝「事業中止」

② 評価表の見方

各まちづくり項目には複数の施策があり、進捗状況が割合（％）で示されています。

進 捗 状 況					
％	◎ (実施済み)	○ (実施中)	△ (今後の実施予定)	▼ (実施困難)	× (中止)
％					

【議会の評価方法】

福島町議会行政評価・事務事業評価要綱に準じて、全議員が各施策の内容を総合的に判断し、まちづくり項目すべてを4段階評価し、さらに、各常任委員会で所管項目ごとに「議会の最終評価」と総合的な説明を加えて「議会評価」としています。

なお、評価対象施策は内容を総合的に判断し、

「◎」十分評価できる 「○」概ね評価できる 「△」やや不足している 「▲」不足しているの4段階評価としています。

総務教育常任委員会 所管主要施策

*議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

第3章 豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実（生活環境・定住対策）

位置づけられるまちづくり項目	町が示した進捗状況					議会の評価	
	◎ 実施済	○ 実施中	△ 今後実施予定	▼ 実施困難	× 中止	評価	説明
No.1 土地利用	16.7	16.7	66.6	0.0	0.0	○	<ul style="list-style-type: none"> 将来的なコンパクトシティー化に向けた検討 台帳地目と現況地目の突合整理と活用対策 空き農地の再確認と活用検討
No.7 公共交通、情報通信	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	○	<ul style="list-style-type: none"> デマンドバスの利用時間帯の延長、情報の容易な把握方法などの検討と、温泉バス・町立診療所バス・スクールバスとの将来的な交通体系一元化の検討 情報通信について、Wi-Fi環境の整備充実、スマートフォン活用拡大策の検討
No.11 防災	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	○	<ul style="list-style-type: none"> 近年の異常気象による集中豪雨や雷、竜巻等、これまでにない災害に対応する防災計画の見直し 防災用具の点検と整備充実 町内会活動としての防災意識を啓蒙する仕組みの確立 小河川の浚渫（土砂・立木等） 防災無線の多角的活用
No.12 消防・救急	0.0	87.5	12.5	0.0	0.0	○	<ul style="list-style-type: none"> 火災報知器・消火器等の普及拡大と設置の徹底
No.13 交通安全・防犯	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	○	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全運動については、指導員の高齢化に対処する体制と効果的な啓発の工夫 防犯運動については、全町的な運動になっていない。犯罪・非行防止のための情報発信

第4章 学び合い、たくましい人を育てる（教育・文化）

位置づけられるまちづくり項目	町が示した進捗状況					議会の評価	
	◎ 実施済	○ 実施中	△ 今後実施予定	▼ 実施困難	× 中止	評価	説明
No.1 生涯学習(推進体制)	0.0	77.8	22.2	0.0	0.0	○	<ul style="list-style-type: none"> 町の社会教育の状況を的確に把握し、指導体制の確立と活発な事業展開を期待 図書室への図書司書の配置
No.2 幼児教育、学校教育	17.4	73.9	8.7	0.0	0.0	○	<ul style="list-style-type: none"> 福島商業高校存続対策の更なる検討 教員の本務外業務の負担軽減策の確立 給食については、生産者の顔が見える、おいしい地元産米割合100%の達成と、関係機関と協力した地元産食材の活用
No.3 社会教育、青少年の育成	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	○	<ul style="list-style-type: none"> 産業関係、福祉関係との連携；テーマは「地産地消」「食育と健康」「循環型社会」等

総務教育常任委員会 所管主要施策

*議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

第4章 学び合い、たくましい人を育てる（教育・文化）

位置づけられるまちづくり項目	町が示した進捗状況					議会の評価	
	◎ 実施済	○ 実施中	△ 今後実施予定	▼ 実施困難	× 中止	評価	説明
No.4 スポーツ	0.0	92.3	7.7	0.0	0.0	○	・町の保健体育の状況を的確に把握し、指導体制の確立と活発な事業展開を期待
No.5 芸術文化、文化財	0.0	84.6	15.4	0.0	0.0	○	・四ヶ散米舞や奴行列等の伝統文化を児童に伝える方策の検討 ・縄文文化の世界遺産登録が現実化しつつあり、町の貴重な文化財の魅力を発信する準備
No.6 地域間交流、国際化	0.0	71.4	0.0	0.0	28.6	○	・三市町交流事業を推進するとともに、墨田区との交流の展開を期待

第5章 協働のまちづくり・行財政運営の充実（住民活動、行財政）

位置づけられるまちづくり項目	町が示した進捗状況					議会の評価	
	◎ 実施済	○ 実施中	△ 今後実施予定	▼ 実施困難	× 中止	評価	説明
No.1 コミュニティ	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	○	・町内会連合会に統合したコミュニティ運動の積極的な展開を期待
No.2 まちづくり活動、女性の参画	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	○	・各種委員、住民活動等における女性の積極的な参画を期待
No.3 広報・広聴、情報発信	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	○	・「公共交通、情報通信」分野の特記事項における記載と「広報・広聴、情報発信」分野の施策「ITについて福島町に適した情報基盤の構築を進める」に整合性が無く、再検討が必要
No.4 行政運営	18.7	68.8	12.5	0.0	0.0	○	・窓口対応については、町民の苦情もあることから、町民ニーズに寄り添うような「親切丁寧な挨拶・案内・説明」等の徹底 ・職員構成で若年層が多くなっていることから指導体制の強化、職員個々の日々の研鑽と意識の醸成を図るきめ細かな研修機会の提供
No.5 財政運営	0.0	87.5	12.5	0.0	0.0	○	・行政コスト計算書作成（コスト意識の徹底） ・外郭団体への補助金見直し（総合プレゼンテーションの実施） ・事務事業の再編・整理・統合・廃止の検討
No.6 広域行政	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	○	・広域事務組合の業務範囲拡張の可能性について、定期的な検討（教育委員会、公共施設維持管理等） ・松前半島道路（松前～白神間優先着工） ・「第2青函トンネル」実現への共同

経済福祉常任委員会 所管主要施策

*議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

第1章 産業の再生による雇用の創出・次世代を担うリーダー等の育成（産業・人財育成）

位置づけられるまちづくり項目	町が示した進捗状況					議会の評価	
	◎ 実施済	○ 実施中	△ 今後実施予定	▼ 実施困難	× 中止	評価	説明
No.1 水産業、水産加工業	20.0	56.7	23.3	0.0	0.0	○	<p>基本目標の進捗状況については、概ね評価できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「育てる漁業」の推進に当たっては、コンブ以外の養殖の検討を行い、種苗生産施設等の老朽化対策、生産物の付加価値向上に努められたい。 ・イカ漁の世界的な不漁が続き、水産加工場は原料の確保が難しく存亡の危機状況にある。施策に「スルメ製品の食べ方、利用方法を普及し、売り上げの拡大に努める」とあるが、抜本的な対策を検討する時期に来ていると思慮する。
No.2 農業	0.0	70.0	30.0	0.0	0.0	△	<p>基本目標の進捗状況については、「やや不足」と評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家経営の現状を把握する基礎的データ（作物別：作付面積・収穫量・収穫額等）の整備が必要。 ・平成29年度に作成した「福島版営農モデル」を待ちの姿勢ではなく、町が積極的に関与して進める必要がある。
No.3 林業	0.0	91.7	8.3	0.0	0.0	△	<p>基本目標の進捗状況については、「やや不足」と評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林組合の再建も順調のようであるが、組合の安定経営、町有林を含めた民有林の適正管理対策として、町産業課への適切な人事配置を期待する。 ・木材の販売・活用については、「製材業者の育成・確保」の施策となっているが、広域的体制の検討が必要と思慮する。 ・「横綱しいたけ」としてのブランドも定着してきており、しいたけ栽培の原木確保が必要。
No.4 商工業、地場産品	16.7	41.7	33.3	0.0	8.3	△	<p>基本目標の進捗状況については、「やや不足」と評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地場産品について、いつまでたっても完成品ができない状況を憂慮する。新製品の積極的開発を期待する。 ・商工業者の所得衰退は著しく、閉店・廃業が漸増している。過疎・少子高齢化が進行する状況下での商業環境について、関係機関と具体的な検討が必要。

経済福祉常任委員会 所管主要施策

*議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

第1章 産業の再生による雇用の創出・次世代を担うリーダー等の育成（産業・人財育成）

位置づけられるまちづくり項目	町が示した進捗状況					議会の評価	
	◎ 実施済	○ 実施中	△ 今後実施予定	▼ 実施困難	× 中止	評価	説明
No.5 観光・交流	0.0	90.5	9.5	0.0	0.0	○	基本目標の進捗状況については、概ね評価できる。 ・観光については、全般的に不安定要素が多く、関係機関の役割分担を明確にし、食の観光の積極的推進も含む観光関連イベントの総括的検討が必要。
No.6 産業創造と雇用労働対策	18.2	72.7	9.1	0.0	0.0	○	基本目標の進捗状況については、概ね評価できる。 ・産業の創造については、事業の硬直化、固定化が見られる。現状をしっかりと分析し、効果的な事業の改善、新規事業の工夫が必要。 ・町外企業の誘致のハードルを下げる企業誘致促進策の検討も必要。

第2章 町民の安全安心な暮らし・がん予防対策の充実（保健・医療・福祉）

位置づけられるまちづくり項目	町が示した進捗状況					議会の評価	
	◎ 実施済	○ 実施中	△ 今後実施予定	▼ 実施困難	× 中止	評価	説明
No.1 保健予防、健康づくり	9.1	90.9	0.0	0.0	0.0	○	基本目標の進捗状況については、概ね評価できる。 ・がん予防、食生活の改善、健康と運動等、日常生活の中で意識を醸成する活動に力点を置くべき。
No.2 地域医療	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	○	基本目標の進捗状況については、概ね評価できる。 ・広域的な取り組みを進められたい。 ・町立診療所に関しては、地域密着型医療体制と訪問診療の充実、民間医療との差別化が必要。
No.3 地域福祉	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	○	基本目標の進捗状況については、概ね評価できる。 ・高齢者等の雪対策は、町内会の労力では限界があり、町が人的手配を行う必要性を感じる。後期実施計画に向け、人的手配（有料化）を検討するべき。
No.4 高齢者の福祉	0.0	62.5	37.5	0.0	0.0	○	基本目標の進捗状況については、概ね評価できる。 ・町立診療所と連携した在宅リハビリ（作業療法士の配置）を充実させるための検討が必要。
No.5 障がい者の福祉	0.0	87.5	12.5	0.0	0.0	○	基本目標の進捗状況については、概ね評価できる。 ・防災等緊急時の支援体制の確立が必要。

経済福祉常任委員会 所管主要施策

*議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

第2章 町民の安全安心な暮らし・がん予防対策の充実（保健・医療・福祉）

位置づけられるまちづくり項目	町が示した進捗状況					議会の評価	
	◎ 実施済	○ 実施中	△ 今後実施予定	▼ 実施困難	× 中止	評価	説明
No.6 生活福祉、社会保障	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	○	基本目標の進捗状況については、概ね評価できる。 ・公・民医療機関の情報共有とレセプトによる治療履歴をもとに受診率を高め、医療費の抑制体制をとるべき。 ・国民年金制度等については、特に若年者層への周知拡大・強化が必要。

第3章 豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実（生活環境・定住対策）

位置づけられるまちづくり項目	町が示した進捗状況					議会の評価	
	◎ 実施済	○ 実施中	△ 今後実施予定	▼ 実施困難	× 中止	評価	説明
No.2 自然保護、環境共生	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	○	基本目標の進捗状況については、概ね評価できる。 ・環境保全の啓発などのPRを積極的に実施すべき。
No.3 公園・緑地、景観、環境美化	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	○	基本目標の進捗状況については、概ね評価できる。 ・環境は自分の財産という意識改革と町民協働の実践が必要。
No.4 ごみ処理、リサイクル	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	○	基本目標の進捗状況については、概ね評価できる。 ・可燃ごみ排出量は減少しておらず、生ごみの水切りの徹底や住民が実行しやすい効果的な対策を進められたい。 ・広域処理移行時の初心に帰り、無駄なごみを出さない生活様式の改善を徹底する検討も必要。（3R：リデュース、リユース、リサイクル）
No.5 水道、排水・し尿処理	16.7	66.6	16.7	0.0	0.0	○	基本目標の進捗状況については、概ね評価できる。 ・各家庭の理解を得、効率的な浄化槽のさらなる普及整備を図るべき。
No.6 道路網	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	○	基本目標の進捗状況については、概ね評価できる。 ・道路については、国・道・町道を問わず安全安心な維持補修を図るべき。 ・松前半島道路の早期実現とともに、松浦・白神間の災害対応事業としての優先着手を強力に要望すべき。
No.8 住宅	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0	○	基本目標の進捗状況については、概ね評価できる。 ・定住促進につなげるような住宅支援、空家バンクの積極的なPRを図るべき。
No.9 児童福祉、子育て支援	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	○	基本目標の進捗状況については、概ね評価できる。 ・働き方改革の実現による子育て支援策の拡大が必要。
No.10 火葬場、墓地	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	○	基本目標の進捗状況については、概ね評価できる。 ・定期的な清浄管理を委託し、墓石所有者（町外）に有料で情報提供するサービス事業（墓石管理・代行供養）の検討が必要。